

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	基礎学力講座・数学（Basic Aptitude Course; Mathematics）		
ナンバリングコード	B00102	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / リメディアル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 前期・後期
必修・選択区分	修得が卒業研究着手条件		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A031753	クラス名	経営経済学部2Q・3Q・4Q
担当教員名	家舗 真衣		
履修上の注意、 履修条件	教科書は必ず購入してください。 講義ノートは必ず準備し、毎時間の予習、復習を必ず実行してください。 授業中の私語は厳禁です。また、欠席・遅刻はしないように心掛けましょう。 本講義は卒業要件単位には算入せず、「合格(R)」認定をゼミナールⅣの着手条件とします (ただし、留学生にはこれを適用しません)。		
教科書	履修学生用テキスト 基礎学力講座・数学（経営経済学部）NBU出版会		
参考文献及び指定図書	その他、必要な図書については授業で指示します。		
関連科目	ゼミナールⅣ		

○基本情報		
授業の目的	数学は専門科目を学習する上で『科学の言語』として欠かすことができません。併せて数学的なものの考え方や見方を身に付けておくことは人生を豊かにしてくれます。特に、専門科目の内容を深め、理解するためにも少なくとも高等学校数学の基本的な内容は理解しておかねばなりません。 この講義では、必要に応じて学習内容の振り返りや復習も講義中に随時取り入れ、経済学や経営学等の専門科目において必要不可欠な知識である高等学校数学の基本的な内容を一通り使いこなせるようになることを目的としています。このことは、経営経済学部ディプロマ・ポリシーの1つである「人間力を基盤とし、幅広い教養と社会人としての責任感と倫理観をもち、経営学・経済学に関する基礎的知識及び専門的・実践的知識を修得できている」に関連しています。	
	皆さんが高等学校までで既に学習した内容の復習が大半です。専門科目で不可欠な要素を中心に学習します。問題演習が主となります。演習の解答状況によっては、フィードバックとして次回の講義時に解説します。また、復習課題・宿題は毎時間課しますので積極的に挑戦し、次回の講義までに必ずやっておいてください。授業内容や進度は、クラスによって調整する場合があります。 P、Qのクラス編成をしています、どのクラスを選択してもすべて同一のシラバスです。 P(基本的な事項)、Q(標準的な事項)を計画していますが、学習する内容や項目もすべて同じです。クラスでの違いは取り扱う内容の程度です。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	理由のない遅刻や欠席がなく、講師の話を傾聴することができる。 疑問点について、積極的に質問し、理解を深めることができる。	20%		
【ディプロマ・ポリシー②】	専門科目で必要となる数学の基礎を定着させるために、自主学習を行うことができる。 専門科目で必要となる数学の基礎を理解し、活用できる。	50%		
【ディプロマ・ポリシー③】	数学的なものの考え方ができる。 専門の講義内容について基礎知識を利用して考えることができる。	30%		

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

重要なのは「疑問点を次回の講義に持ち越さないこと」です。何か解らないことがあれば、次回の講義までには必ず解決するようにしましょう。その為には、講義担当教員か、下記のアクティブラーニング室(※)まで質問に行くようにしてください。

※「アクティブラーニング室」は4号館の1階にあります。学習に関する利用であれば、個人やグループを問わず自由に利用することが出来ます。特に、国語と数学・物理の教員が待機していますので、何か困ったことがあれば質問・相談に行きましょう。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	基礎学力講座・数学（Basic Aptitude Course; Mathematics） 家舗 真衣	授業コード	A031753
学修内容					
1. オリエンテーション、実力確認テスト 講義の進め方や成績評価の方法等について説明します。 認定試験3種類（A、B、C）を実施します。この時点での自分の苦手な内容を把握しましょう。					
予習		実力確認テストに備えて教科書の演習問題に出来るだけ取り組む。			約2時間
復習		実力確認テストのできなかった問題を解きなおうす。			約2時間
2. 整数の計算(1) 整数の足し算、掛け算について学修します。					
予習		教科書1.1、1.2、1.3節（p.3、4）を熟読する。可能な限り演習問題（A1～A3）に取り組む。			約2時間
復習		講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。			約2時間
3. 整数の計算(2) 整数の引き算や負の数について学修します。					
予習		教科書1.4節（p.5）を熟読する。可能な限り演習問題（A4～A5）に取り組む。			約2時間
復習		講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。			約2時間
4. 整数の計算(3) 整数の割り算や符号の重なりについて学修します。					
予習		教科書1.5節（p.7）を熟読する。可能な限り演習問題（A6）に取り組む。			約2時間
復習		講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。			約2時間
5. 整数の計算(4) 計算順序や整数の四則混合算について学修します。					
予習		教科書1.6節（p.8）を熟読する。可能な限り演習問題（A7～A10）に取り組む。			約2時間
復習		講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。			約2時間
6. 分数・小数の計算(1) 帯分数・仮分数について学修します。					
予習		教科書2.1節（p.10）を熟読する。可能な限り演習問題（B1）に取り組む。			約2時間
復習		講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。			約2時間
7. 分数・小数の計算(2) 分数の足し算、引き算について学修します。					
予習		教科書2.2節（p.11）を熟読する。可能な限り演習問題（B2～B3）に取り組む。			約2時間
復習		講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。			約2時間
8. 分数・小数の計算(3) 分数の掛け算、割り算について学修します。					
予習		教科書2.3節（p.11）を熟読する。可能な限り演習問題（B4～B5）に取り組む。			約2時間
復習		講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。			約2時間

○授業計画		科 目 名	基礎学力講座・数学（Basic Aptitude Course ; Mathematics）	授業コード	A031753
		担当教員	家舗 真衣		
学修内容					
9. 分数・小数の計算(4)					
分数の四則混合算について学修します。					
予習	教科書2.4節（p.12）を熟読する。可能な限り演習問題（B6）に取り組む。				約2時間
復習	講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。				約2時間
10. 分数・小数の計算(5)					
小数の計算、分数と小数の混じった計算について学修します。					
予習	教科書2.5節（p.12）を熟読する。可能な限り演習問題（B7～B8）に取り組む。				約2時間
復習	講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。				約2時間
11. 百分率・割合					
百分率と割合について学修します。					
予習	教科書3.1、3.2節（p.14）を熟読する。可能な限り演習問題（C1～C3）に取り組む。				約2時間
復習	講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。				約2時間
12. 累乗・平方根・ルート					
累乗・平方根・ルートについて学修します。					
予習	教科書3.3節（p.15）を熟読する。可能な限り演習問題（C4～C6）に取り組む。				約2時間
復習	講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。				約2時間
13. 式の値					
式の値について学修します。					
予習	教科書3.4節（p. 16）を熟読する。可能な限り演習問題（C7）に取り組む。				約2時間
復習	講義ノートを復習し、疑問点は必ず解決しておく。課題に取り組む。				約2時間
14. 全体復習(1)					
講義内容の全体について復習します。疑問点はすべて解決するようにしましょう。					
予習	ここまでの講義内容の疑問点を纏めておく。				約2時間
復習	講義ノートを復習し、疑問点は次回講義までに解決しておく。課題に取り組む。				約2時間
15. 全体復習(2)					
講義内容の全体について復習します。疑問点はすべて解決するようにしましょう。					
予習	ここまでの講義内容の疑問点を纏めておく。				約2時間
復習	講義ノートを復習し、疑問点は必ず解決しておく。課題に取り組む。				約2時間
16.					